

# ふるさと探訪



[3]

綾部高校には二つの重要な記念日がある。一つは四月十四日の「創立記念日」、もう一つは十月十五日の「開校記念日」。後者は三校統合による現在の新制綾部高等学校が正式に発足した日(昭和二十三年)。前者は、同校の前身である府蚕糸業組合立高等養蚕伝習所が明治二十六年(一八九三)に設立された日だ。

同校の創立者は波多野鶴吉翁(おう)。伝習所は、

## 府蚕糸業組合立高等養蚕伝習所

波多野翁を指導者とする府蚕糸業組合が、府下の養蚕業の発展を目指し技術者を養成するために設立した。

昭和二十二年に出版された「波多野鶴吉翁小伝」(小雲嘉一郎著)を読むと、波多野翁が教師の招へいや校舎の建設などで東奔

## 「養蚕のメッカ」人気呼ぶ

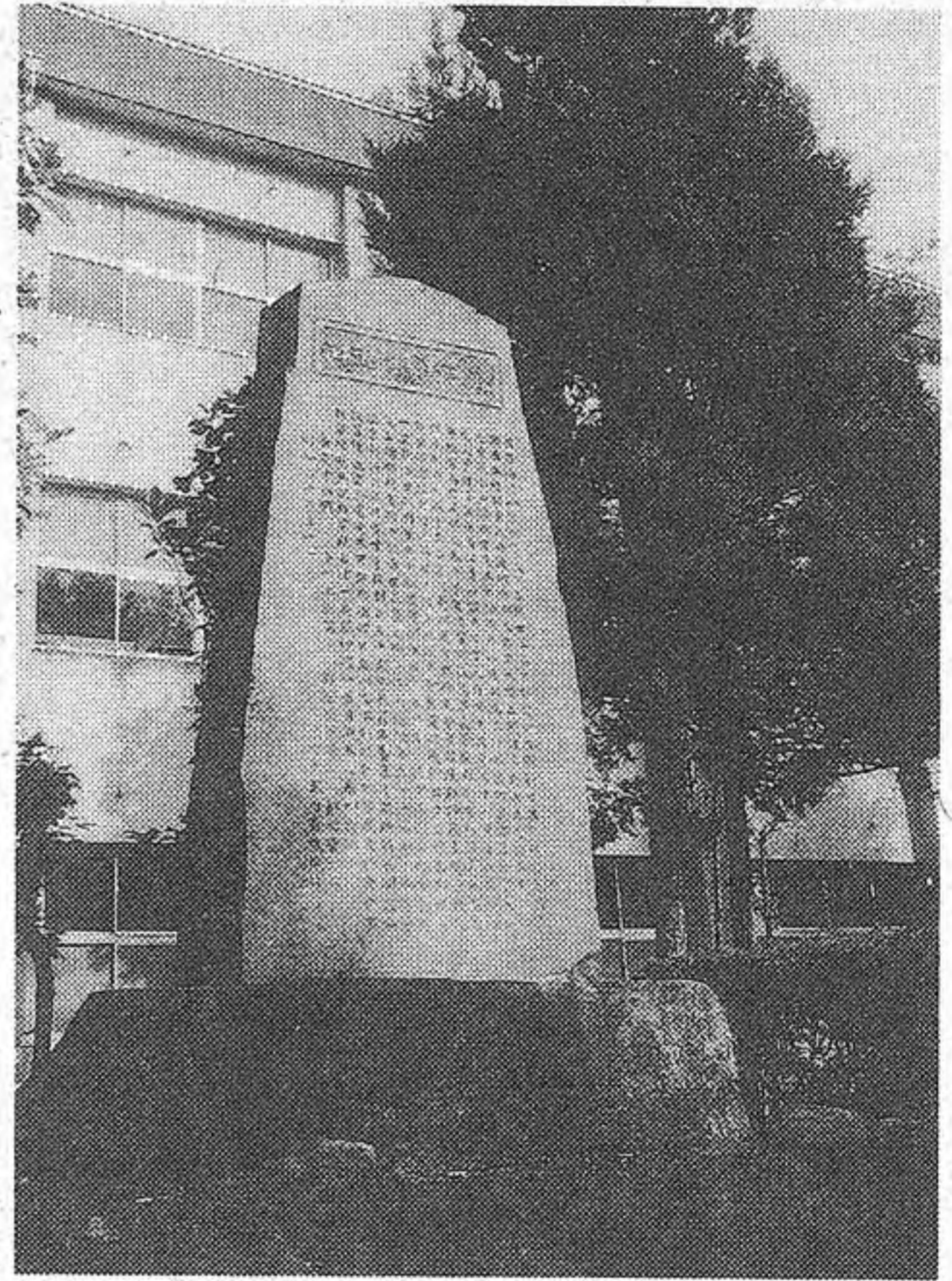
### 綾部の前身 100年前に波多野翁が創立

西走した様子がよく分かる。波多野翁は明治二十七年までの十一年間、初代所長を務めた。

伝習所には、十六歳以上の男子で実地経験のある者が入学できた。中には妻帯

者もいたようだ。卒業生は多くは養蚕の指導者として全国を巡った。伝習所は、ち、京都蚕業講習所、城丹

蚕業講習所を経て、大正七年からは府立の教育機関に



玄分校東高綾部現あったの習所蚕養 関前に建つ「波多野翁遺徳碑」。創立50周年を記念して昭和24年に建てられた(川糸町で)

機関づくりが盛んになる。山形大工学部も養蚕の教育機関が発展したものとみられており、綾部高校が「綾部大学」になっていた可能性を説く人もいる。

伝習所の設立は、今でいう産学協同の形態をとっていた。もちろん「産」は郡是(グンゼ)であり、明治二十九年には「郡是製糸会社」が設立される。同校とグンゼとの深い結びつきは、その後の工業学校の創立時(昭和十八年)にも、設立の経過や用地確保などの面で示された。

しかしその一方で、クリスチャンだった波多野翁のことを考えると「学校にクリスチャンの形式がない」と迫田さんはいぶかる。百年前、伝習所に学んだ人たちが生きていたとしたら、今の「綾高」にどんな感慨をもつだろうか。

### 「綾部大学」になっていた可能性も